



# 浜須賀まちのちから

## コロナに負けない 地域活動

浜須賀地区まちのちから協議会 会長  
青木 三郎



皆様おめでとうございます。昨年はコロナウイルスの影響により、各団体の地域活動が、ほとんど実施されず、なかなか皆様との連携が取れませんでした。もちろん

皆様おめでとうございます。昨年はコロナウイルスの影響により、各団体の地域活動が、ほとんど実施されず、なかなか皆様との連携が取れませんでした。もちろん

るんまちのちから協議会も同様な状況です。茅ヶ崎市でも254人（令和2年12月18日現在）の感染者がおられるとのこと。コロナウイルス感染は第3波の波が来ており今年も続くと思われま。こついった状況の中でいかにコロナとの共存を図り、新しい生活様式、行動様式において地域活動をどのようにして進めるかが、今後の大きな課題となるかと思。まちのちから協議会が主催している、市民のつどい、防災訓練、赤ちゃんサポート、広報誌発行等においてコロナ感染防止対策を取りながら、具体的な実施をどのように実行するかが頭を悩ませます。

したが今後はどのような行動をすればいいのか、地域との連携はどうすればいいのか。赤ちゃんサポートは人数や感染防止の制約の中で実施しているが、多くの若いお母さんの育児や子どもとの生活上の悩みをどのように相談し、解決に結びつけるか。コロナウイルス感染がいつ収束するかわからない中で、地域の活動も重要性も増していることと考。現在具体的にどのような地域活動を進めるかは模索中であり、より良いやり方について皆様方からの意見を聞きながら進めていく所存です。早く従来のような活動ができるようになることを願うばかりです。



昨年の防災訓練

## 「つながり」を大切に

浜須賀中学校 校長  
小林 美佐子



人が集い、共に学ぶことで一人ひとりの成長を図ることが学校の存在意義である。そんな当たり前の状況をコロナ禍は簡単に壊して

いった。そんな中、今年度、一番力を入れたのは、「つながり」を大切にすることである。休校期間中は感染防止のため、生徒と会えなかった。なんとかしてつながっていたいと考。始めた『浜中日誌』。教職員が日替わりで学校の様子や学習の工夫など、ホームページを使い生徒に語りかけた。休校が開けてからは、コロナウイルスへの不安からくる差別や偏見、いじめ等で生徒同士のつながりが断たれないよう意識した。休校明けの初日、分散登校ではあったが、全クラスで、日本赤十字社の動画「ウイルスの次にやってくるものを扱い、考える時間をとった。1年生に実施しているいじめ



休校中の窓ガラスメッセージ「コロナに負けるな！ピンチをチャンスに変える浜中生」

防止プログラムも例年の9月ではなく、6月から始めた。今後も、続くコロナ禍の中、生徒同士のつながりを大切に教育活動を推進していきたい。

## 教室での入学式

緑が浜小学校 校長  
西片 尚之



今年度、例年通りに体育館で入学式を行うことが、「3密」を避けるため困難となりました。校庭での実施も考えましたが、最終的には、オープンスペースと1年生教室を合体させ式場としました。新入生は各教室に入り、演台や校旗、お祝いの言葉などが設置されたオープンスペースの方を向き式に臨みました。式は簡素化され正味15分程度でしたが、間近に子どもたちの表情を見ながら話をしたり、担任を紹介したりすることができました。閉式後、子どもたちは黒板の方向に体と椅子の向きを変え、担任との顔合わせを行いました。感染防止のため保護者は校舎内には入れず、テラス越し、窓越しの参観とはなりましたが、暖かな雰囲気で行われ、子どもたちの笑



教室での入学式

## 自ら考え行動する力

浜須賀小学校 校長  
松永 忠弘



学校は、3月2日から3か月間の臨時休業の後、6月の分散登校、短縮授業を経て、6月29日から全学年で通常日課を再開しました。学校再開から今日まで、今まで当たり前になっていたことが当たり前でできない毎日から、少しずつ日常を取り戻しつつありますが、しかし、私たちは、「コロナ禍」以前に戻ることができません。「新型コロナウイルスへの対応は長いマラソン」と言われます。「新しい生活様式」を踏まえ、感染防止に継続して努めているところで。具体的には、毎日の検温と健康観察の徹底、マスクの着用、また、授業では、子どもたちの机を離してできるだけ対面になる場面を作らないようにすること。もちろん、教室の窓を開放し密閉空間を作らないよう換気をしていきます。これは、給食の時間も同様で、グループになって対面で話し



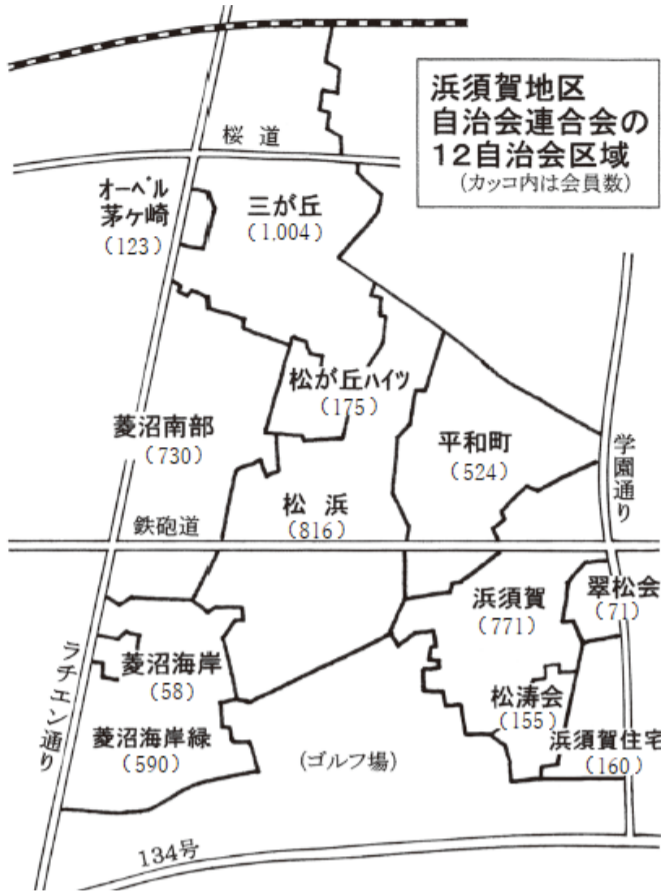
机を離して授業

顔も近くから見ることができなくなりました。直前に変更した苦肉の策でしたが、今考えればオープンスペースの良さを生かした取り組みであったと思います。

ながら食べることをせず、全員前を向いて会話を控えて食べています。大切なのは、自分自身と自分の周りの人、家族を守るためにはどうしたらよいか「自ら考え行動する力」を子どもたちに身に着けさせることと考え、全教育活動において繰り返し指導しております。



### 浜須賀地区自治会連合会



浜須賀地区自治会連合会は、浜須賀地区にある12の自治会で組織されています。よりよいまちづくりのため、防災や環境など自治会同士で情報共有を行いながら顔の見える関係づくりをしています。コロナ禍でなかなか活動ができませんが、早期終息を願い、withコロナのなかでの取り組みを検討していきます。

### 浜須賀会館管理運営委員会

やっと7月より開館しました。コロナ感染拡大防止対策として、3月から6月迄休館となりました。「こんなことは、はじめてですよ」と青木会長の言葉。開館に当たっての消毒の準備(入口での指・手消毒、体温測定、各部屋の消毒、会館利用者すべての方の名簿記載)など。利用者にして頂くことと、会館職員がすべきことをすみわけし安全を担保して開きました。一番大切なことは、コロナ対策を万全にし、安心して利用していただくことです。「こうして体を動かさないと体がおかしくなりますよ」との利用者のお声を大切にこれからも、気を緩めず消毒を徹底して参ります。一日も早くコロナ騒ぎがない世界が訪れることを祈りながら。

### 浜須賀地区社会福祉協議会

昨年はコロナ問題で「ふれあい昼食会」、「敬老のつどい」等の活動ができませんでした。しかしながら皆様と接する機会が、何かないかと思案し、会報「住んでいてよかったまち「はますか」」特別号を関係団体の協力を得て、昨年9月に発行いたしました。紙面内容は当協議会の組織図・活動内容等を網羅し、最終ページには、皆様を外に出て楽しみながら散歩していただく「お散歩ビンゴ」を掲載いたしました。このビンゴは秋バージョンですが、季節に合わせた内容を、皆様自身が思い浮かべながらお散歩されてはいかがでしょうか。



### 浜須賀地区体育振興会

地域の皆様の健康増進を担う当振興会では、例年同様準備を進めていた、球技大会(6月)、納涼祭(7月)ですが、コロナの影響により市からの要請に基づき、早い時期から中止を決定致しました。開催を望んでいた体育祭(10月)は状況をみながらとじていましたが、8月の感染拡大時に熟慮の結果中止を決定。市主催の高南一周駅伝競走大会(1月)、ニュースポーツフェスティバル(2月)、ファミリーバドミントン大会(3月)も、今年度は全て中止になってしまいました。コロナが終息し、来年度は各行事が安心して開催できることを願っています。

外へでよう! コロナに負けるな!

### 浜須賀小学校PTA

浜須賀小学校PTAも今年度は大きな活動はできず、運動会の受付のお手伝いや、除菌液やスプレー容器など学校の生活に必要なものの寄付などがメインとなっております。そんな中、2年前より始めた「フィリピンの離島に上履きを送ろう」という活動の延長で、今年はコロナウイルス感染拡大の影響でロックダウンしているフィリピンの子供たちに、本やおもちゃなどを送りました。突然の募集にもかかわらず、多くの方がたくさんの物資を寄付してくださいました。9月中旬に発送した荷物は、11月中旬に無事に離島に届き、クリスマスプレゼントとして多くの子ども達に配られるそうです。これからも上履きを始め、いろいろな物資の寄付を通して交流が深まり、児童や保護者の方々の学びや体験に貢献できたらと思っています。

### 浜須賀小学校

校地内でのマスクの着用、参観人数の制限(各家庭2名まで)、1週間分の検温票の提出、低学年と高学年の保護者の皆さまの入れ替え、「密」の状況を極力つからないなど、コロナウイルス感染防止策を講じ「運動会」を実施しました。午前中のみ開催となりましたが、子どもたちの活躍する場をつくることができました。地域の皆さまのご理解、ご協力にこの場をお借りして心よりお礼申し上げます。

### 浜須賀中学校

全校で唯一実施できた行事「体育祭」。生徒の意見を取り入れ、初めて『部活動等対抗リレー』を実施しました。演奏や空手の板割など各部等が趣向を凝らし、グラウンドは温かい拍手で一体となりました。コロナ禍はピンチではありますが、行事の目的の見直しと変化のチャンスを与えてくれたと感じています。

### 浜須賀中学校学級代表者会

学級懇談会が開けないため、今年度は書面での募集により34名を選出しました。学校行事や浜須賀会館まつりなどの地域行事への参加もコロナ禍でできませんでしたが、こんな時だからこそ学校と保護者との情報共有が大切になると考え、2回の学級代表者会は開催しました。花の植え替えのボランティアも2月に1回行う予定です。

### 浜須賀地区民生委員児童委員協議会

民生委員児童委員20人、主任児童委員2人の22人の民児協です。昨年2月に高齢者施設を訪問して以来、組織活動は月1回の定例会議だけになっています。3月~6月はコロナ感染拡大防止のため、一堂に会する事は出来ませんでした。関係団体の各種行事お手伝いも、中止です。特にふれあい昼食会で顔合わせしてきた方とお会いできず。残念な思いです。こうした日々ですが、お声がかかれば電話でお話して相談に応じ、必要によってはお尋ねするようにしています。ひとり暮らしのご高齢者や登下校の見守りは、ボランティア活動の皆さんと続けています。大変な日々ですが、手洗い、マスクなどで感染防止にまずはご自分で注意し乗り切りましょう。担当委員が判らない時→市役所「福祉政策課」へ(TEL:0467-82-1111)

### 浜須賀小学校区青少年育成推進協議会

浜小推進協では、「子どもたちの安心安全に関する支援活動」「青少年の豊かな体験と交流の場づくり」「地域とのパイプ役」の3つを柱に、子どもと大人が協力しあいながら青少年育成活動を推進しています。しかし、今年度はコロナの影響で活動が全く行えておりません。withコロナでの新たな活動方法を模索し、来年度計画を変更する必要があると考えております。

### 緑が浜小学校区青少年育成推進協議会



緑小推進協の行事は夏祭りをはじめ、大勢の人たちが集まる事が多いので今年度の行事は全て中止となりましたが、その中で唯一実施出来たのが地域パトロールでした。目に見える事は厳しい現状ですが、せめて緑の下の力持ちになれば良いのかと思っています。

←緑小キャラクター みどりん

### 緑が浜小学校

10月29日(木)、半日日程で運動会を開催しました。内容は、各学年の競技と徒競走、そして『6年による表現』に絞りました。多分、本年度最初で最後となる全校が一堂に会する機会でしたが、一人ひとりが輝いていました。

### 地域包括支援センターあさひ

コロナウイルス感染拡大の状況下、介護・医療・福祉に関する相談を随時受け付けております。感染対策を講じつつ、必要に応じて各家庭に訪問も行います。土曜、祝日も営業しております。どうぞお気軽にご利用下さい。(TEL:0467-84-6383)



# With CORONA

浜須賀地区まちのちから協議会は、  
 浜須賀地区を安心・安全で住みやすい地域にするため平成25年に設立した団体です。  
 Withコロナで各団体なかなか活動が出来ない状況が続いていますが、  
 こんな時こそ、浜須賀地区全体で助け合いながら乗り切りましょう！



浜須賀地区民生委員児童委員協議会：登下校の見守り活動



緑が浜小学校：6年生による表現



浜須賀小学校PTA：フィリピンへ本やおもちゃを送りました



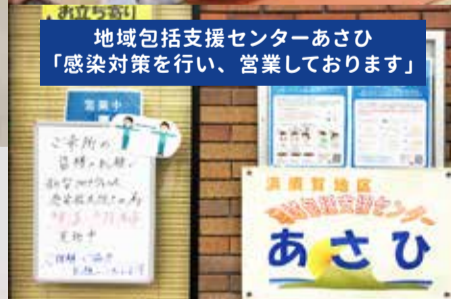
浜須賀会館管理運営委員会：わらじづくり



浜須賀会館管理運営委員会：ヨガ教室



浜須賀会館管理運営委員会：ボランティア活動



地域包括支援センターあさひ  
「感染対策を行い、営業しております」



浜須賀中学校：部活動対抗リレー



浜須賀小学校：6年生による「フラッグ」の演技



### 自治会紹介

浜須賀地区の自治会を順番に紹介するコーナーです

#### ■菱沼海岸自治会

菱沼海岸自治会は1962年に30世帯で発足しました。当時の住居表示は菱沼字浜須賀でした。ラチエン通りは未舗装で、自動車が通ると砂ぼこりで家の中がザラザラになりました。茅ヶ崎市に、舗装化の陳情書を出しました。それが発足のきっかけです。当時は、高度成長の初期で、周りは松林と大邸宅と麦畑でした。その後、新築ブームが起きました。現在は、58世帯になりました。今は少なくなった近所付き合いを大切に、災害に強い自治会を模索しています。

#### ■オーベル茅ヶ崎ラチエン通り自治会

私たちの自治会は比較的若い世代が多く、お子さんも多いのが特徴です。規模を縮小し感染対策をしっかり行った上で、昨年もハロウィンイベントを開催しました。お子さん達の笑顔を見ると、ちょっとしたお祭り気分を演出できた

のではないかと考えております。コロナ禍で何もやらないという選択肢もありますが、何かできることはないかを考えながら自治活動を進めて参ります。



### 茅ヶ崎市環境部環境事業センター

## 市内で、ごみ収集車の火災が発生!



昨年、市内で3件の車両火災が発生しました。

いずれも「燃やせないごみ」の収集車で、その原因は分別を誤って排出された次のようなものでした。



左:ライター▶ 使い切って「燃やせるごみ」の日に  
右:スプレー缶▶ 使い切って穴をあけて「かん」の日にお出しください。

適正に排出していただくと火災を防ぐことができます。近隣の方々への周知など、ご協力をお願いいたします。



## 平和町交番より

新型コロナウイルスが猛威をふるう中、警察においてもその活動に影響があらわれており、平和町交番におきましては特に次の2点が気になっています。

1点目は、「在宅中を狙った詐欺被害が増加」している事です。コロナウイルスが流行する前にも詐欺と思われる前兆電話等は多数ありましたが、市民の皆様がコロナウイルスを警戒し、外出を控えるようになってから電話に不用意に出てしまったり、パソコン作業中に誤まって詐欺のサイトにアクセスしてしまった、といった相談や110番を扱う事がより増えたように思います。

幸いにも平和町交番管轄内にお住まいの皆様は防犯意識が高く、昨年は大きな特殊詐欺は発生していませんが、他の交番管轄内では特殊詐欺の被害が起っており、いつ被害が発生してもおかしくない現状です。

2点目は「不審者の見分けがつきにくくなっている」事です。今までは「マスクを付けた人がうろうろしていて怪しい」等の通報がありましたが、今は外出時マスクを着用する事が当たり前になり、善良な市民か、それとも何らかの犯罪を目論んでいる人物なのかの区別がつきにくくなったように感じます。

以上の事を踏まえ、これまで以上に留守番電話の活用や、時間や場所にそぐわない不審な行動をする人物に気をつけて下さい。

## 「在宅中のあなたを狙う詐欺電話 留守番電話で撃退を」

### すこやか赤ちゃんサポート

コロナ感染防止対策のため、会館は閉館でした。すこやか赤ちゃんサポートもできなくなりました。赤ちゃんやお母さん方は出かけるところがなくなり毎日を過ごすのが大変だったと思います。

そんな中、9月よりすこやか赤ちゃんサポートを再開いたしました。初日は2組の親子さんでした。スタッフ一同大歓迎でした。敬老の日の近くでしたので、おじい様やおばあ様にプレゼント作りをしました。親子の写真を撮って色紙に貼り素敵な贈り物ができました。「こんなに集中して作業したのは久しぶり」とお母さんは喜んでいました。安全なところで少しの時間でも我が子のことを忘れて何かに没頭することは、子育てとは違う楽しみなのでしょう。

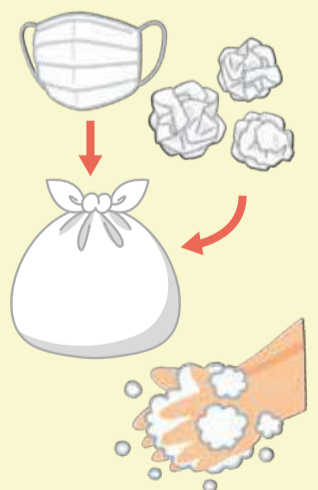


スタッフ8名と保健師さんとお待ちしています!

浜須賀会館大広間  
毎月第3木曜日 9時30分~11時30分

### 新型コロナウイルス感染対策としてのマスクの捨て方

感染した方や疑いがある方などがご家庭にいらっしゃる場合、鼻水等が付いたマスクやティッシュ等のごみを捨てる際は、「ごみに直接触れない」「ごみ袋はしっかりしばって封をする」「ごみを捨てた後は手を洗う」ことを心がけましょう!



### 広報編集委員

青木会長・朝倉・日向・角田・織岡・大門・名嘉・安藤・梅木・大田